

事業所における自己評価結果（公表）

令和8年4月

事業所名 就労準備型放課後等デイサービスH i l o

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用人数やその日の活動に合わせて、室内以外に広々とした自然活動スペースも活用しています。
	②	職員の配置数は適切である	○			令和4年度より職員を増員し、より多様な活動（イベント等）を行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設内は、バリアフリー化されており利用者様にしやすい環境になっております。	
	④	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		その日の活動や手洗いスペース、トイレなどの可視化するようにしております。行事・イベントなどは、提示、メールで添付をして必要な方は、事前にお電話等でも周知しております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎朝の伝達事項の確認やその日の反省を行い情報共有をしています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の皆様からの評価を素直に受け止め、業務の改善に努めてまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに掲載しています。 (ブログやインスタグラム等)
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		専門家を招いての外部研修の事例検討などで充実した研修を行っています。	虐待防止・権利擁護研修等の実施以外にも、学びの研修の機会をつくっていきます。

事業所における自己評価結果（公表）

令和8年4月

事業所名 就労準備型放課後等デイサービスHillo

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	○		利用毎に保護者とコミュニケーションをとり、随時利用者の生活環境などを把握し、不安や悩み事に耳を傾けて次の支援に反映させています。	令和6年度からの法改正により、5領域との関連性からなる個別支援計画を細かく具体的な内容で作成します。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールの導入をしています。
	⑫ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別支援計画をもとに、定期的に職員間で情報交換を行い、子どもの発達に合わせて内容を工夫しプログラムを作成しています。	個別支援計画をもとに、定期的に職員間で情報交換を行い、子どもの発達やその場の気持ちに合わせて内容を工夫しプログラムを作成しています。
	⑬ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑭ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		季節に合わせて体験やイベントを取り入れています。	
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス支援計画を作成している	○			
	⑯ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝の会議で、その日の利用者の確認、支援内容の打ち合わせを行っています。	急な変更時の送迎時間等も再度、確認しながら共有をしています。
	⑰ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		各担当者を中心に振り返りを行い、他の職員の意見も取り入れて、次回の利用に反映させています。	
	⑱ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
⑲ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者と密にコミュニケーションをとり、個別支援計画の見直しを検討しています。	本人が参加し、本人の意向に沿った個別支援計画の見直しを検討していきます。	
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉒ (医療的ケアを必要とする利用者なし)				
	㉓ (医療的ケアを必要とする利用者なし)				
	㉔ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		急な時間変更の確認やトラブル等が見られたときは学校と密に送迎時や電話連絡をして情報共有しています。	
	㉕ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、これまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	○			そのような場合にも利用者が、スムーズに次のサービスを利用できるよう細かな情報共有をし支援しています。
	㉖ 他の児童発達支援センターや事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			栃木市主催の障がい児福祉サービス事業所連携会議（研修会）に参加して助言等を頂いています。
	㉗ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			母体の保育園の行事への参加や、併設されているB型作業所の販売活動へ参加しています。
	㉘ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			地域のイベントにも参加しています。
㉙ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
㉚ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		昨年は開催することができませんでしたが、今年度は保護者参加型の行事を実施する予定です。	

事業所における自己評価結果（公表）

令和8年4月

事業所名 就労準備型放課後等デイサービスH i l o

		チェック項目	は	い	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	㉑	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			モニタリングの際など、定期的に悩み、相談で助言、支援を随時行っています。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		そのような機会を設けていく予定です。
	㉓	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			申し入れ頂いた際は、速やかに相談、支援を行っています。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			掲示板や連絡網を使用し、行事等の予定をお知らせしています。	ホームページでも、行事等のお知らせをお伝えします。
	㉕	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人ファイル、パソコンは鍵のかかる書庫に保管しています。	
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			保護者との連絡ノートを設けて情報共有してしています。	体調の変化や日々の様子を細かくお伝えします。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			メリー祭として地域の方とも交流し、ふれあいの場を設けています。	地域・子ども食堂を開催しています。今年度も併設の事業所と合同で月に一度（第4土曜日）、開催を予定しています。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			誰でも見れるように施設内に掲示しています。	
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			利用者が参加しやすい日にちに実施予定しています。	R7・10月不審者避難訓練と12月に火災時の消防活動訓練、5月に水害訓練を行っています。
	㉚	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			投薬依頼書を提示しています。	服薬の情報や依頼書を提出して頂き副作用など子どもの様子を見て変化があるときは、状況を確認し速やかに連絡等お伝えします。
	㉛	食事アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例をもとに意見交換をして次の支援につなげていけるようにしています。	ニコリホットの事例を増やし、より良い環境を作れるようにしています。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				虐待防止委員会を設置しています。利用者の権利擁護に関する研修会等へ積極的に参加します。
	㉞	(身体拘束を要する利用者なし)					